

【戦うオヤジの応援団 2011 年度状況報告と収支報告】

■状況報告

2012 年 3 月末時点で、実施頻度は異なっても定期的な活動を継続しているのが、北海道札幌市、北海道富良野市、千葉県柏市、埼玉県川口市、東京都国立市、東京都台東区、東京都港区、神奈川県横浜市、長野県飯田市、静岡県静岡市、岐阜県各務原市、愛知県春日井市、大阪市西区、兵庫県西宮市、兵庫県神戸市、香川県高松市、愛媛県松山市、福岡県福岡市の 18 ヲ所。活動は不定期ですが S P として存在しているのが、山梨県北杜市、静岡県伊豆の国市、愛知県名古屋市、兵庫県丹波市、京都府京都市の 5 ヲ所。S P として発足したものの、世話役の関係などで活動は休止中の 3 ヲ所（宮城県仙台市、新潟県弥彦村、奈良県生駒市）を含めると、全国の拠点は 26 ヲ所 となります。（他に、大阪府貝塚市、埼玉県春日部市の 2 ヲ所が 2012 年 6 月に活動開始）

2011 年 4 月～2012 年 3 月に新たにメンバー登録をいただいた皆さんは 148 名（前年度は 175 名）で、3 月末時点の登録メンバーは 1540 名。そのうち、2011 年度に正会員として登録・更新をいただき、年会費のお支払いをいただいた方が 288 名（前年度は 265 名）となっています。

2010 年度に 4 回実施した西新宿のコンサートは、会場の使用料値上げなどの影響でしばらく休止することとし、2011 年度は 5 月に 1 回実施しただけとなりました。

■収支報告（別紙報告書の解説）

- ・これまで何回か、各地の S P に事務経費補助として 1 万円程度の配分を行っており、2011 年度も 12 万円の予算を計上していましたが、S P の数が増加し、今後も増え続ける状況が予想される中、活動状況を十分に把握できない中で一部の S P だけに補助を行うのは不公平になる恐れがあると共に、全ての S P に配分するだけの事務経費補助予算を確保することは困難な状況にあるため、今後は事務経費補助予算の配分は行わないこととしました。また、年度予算が余った場合に翌年度の正会員に向けて限定グッズを作成するために予算化していた費用（ステッカー印刷代としての 5 万円）については、2012 年度より当該年度予算に組み入れて、年度当初に支出することとし、2011 年度予算からの支出は行っておりません。これらの変更により、2011 年度の支出は当初予算から 17 万円減少したことになります。
- ・支出に占める割合は、家賃と光熱費等を含めた事務所維持費用で 8 割を占めています（昨年とほぼ同じ）。
- ・事務所での電話料金については、個人的な用件で電話を使用することもあるため、例年通り通信料は個人負担とし、基本料金のみ計上しています。
- ・S P 訪問のための交通費は、岐阜（11 月）訪問の 1 回分のみ計上し、他は個人負担としました。
- ・2011 年度には、応援団の創設と運営に大きな貢献をしてきていた山形の黒田氏と大阪の岡村氏が逝去し、会としての感謝の意を込めて、葬儀の供花の 41000 円の支出を行っています。今後は、会としての基準を設けて対応する必要性も感じております。
- ・収入に占める割合としては、正会員年会費 42%、法人賛助会員年会費 20%、その他の事業収入 20%、寄付 14% となっており、昨年とほぼ同様です。
- ・法人賛助会員は 10 社の見込みが 14 社に、正会員は 280 名の見込みが 288 名にと、共に予定よりも若干増加し、寄付も 20 万円の見込みが 29 万円と増加し、当初予算よりも若干多くの収入を確保することができました。
- ・以上のように支出を抑え、収入が増えることで、2011 年度の収支合計は当初予算よりも 35 万円程度のプラスとなりましたので、借入返済を予定よりも 2 万円多くすることとし、最終的な収支は 55 万 3771 円のプラスとなりました。